

輝人

かがやきびと

このコーナーでは仕事やプライベートで
“輝く人”を紹介します。
第38回は、ドラッグアカカベ枚方公園店で
活躍する、所嵩 幸子さんを
クローズアップします！

“あの人ならどうするだろう”と
自分に問う。
尊敬する彼女のように
潔く、まっすぐでありたい。

“あの人ならどうするだろう”
尊敬する人の存在

アカカベで働き始めて約9年、仕事が楽しくて仕方がないと笑顔で話す所嵩さん。そんな所嵩さんには、仕事をする上でお手本としている尊敬する人がいるという。「以前の職場で一緒に働いていた方なんですが、人が嫌がる仕事に率先して取り組む方がいらっしゃいました。接客業だったのですが、お客様への気つきも早いし、一緒に働く従業員のことにもしっかり見ている。自分より年齢が若いのにすごい子だな、と彼女の働きぶりに感心しっぱなしでした。アカカベで働き始めてからは、“彼女ならこういう時どうするかな”と、答え合わせのように自分と照らし合わせて思い出す存在です。」

登録販売者となって、
変わった意識

入社してしばらくの間、別の仕事を掛け持ちしていた所嵩さん。登録販売者の試験に受かるからには“アカカベ一本で頑張りたい”と思う気持ちが強くなったという。「前野店長が着任されてすぐに、登販の社内勉強会に推薦してくださりました。私には無理なのかな…と少し諦めていたところもあったので、推薦していただけたことが



仕事で大切に
していること

人がやりたがらない仕事を率先してやる！

所嵩 幸子
(ところざき さちこ)

2013年3月入社
パート社員として枚方公園店に入社、2018年12月に契約社員に。
持ち前の明るさと仕事の正確さは、前野店長のお墨付き。

すごく嬉しかったのと同時に、絶対に受からないと！というプレッシャーも大きかったです。当時はアカカベ以外の仕事もしていたので、アカカベ、もう一つの仕事、そして家庭のこと、そこに試験勉強が加わるハードな状況でしたが、同じタイミングで資格試験に向けて勉強をしている友人が居てくれたおかげで、二人で励まし合いながら勉強をすることができました。そして何より、家族がサポートしてくれたおかげで合格することができたと感謝しています。今もう一度あの一年をやれと言われても、絶対に無理です(笑)。」登録販売者として店頭に立つようになり、お客様から受けるお薬の質問や、朝の鍵開け業務など、それまでとは違う緊張感を感じる場面が増えたと所嵩さん。「不安な時にはいつも“何でも聞いてくれたらいいよ”と優しく見守ってくださる方たちの存在がありました。今私が楽しく仕事をすることができているのは、お世話になつたみなさんのおかげです。」

お客様から信頼されるスタッフに

大好きな仕事に邁進する所嵩さんに今後の目標を聞いてみた。「微力ではありますが、店長が目指す店づくりに貢献できるスタッフで在りたいと思っています。枚方公園店のお客様には、前野店長を慕って来店される方が多いんです。店長の接客を見ていると、深い気付きや、優しさ、丁寧さがあり、みなさんから慕われる理由がよくわかります。私自身はまだまだその域には及ぶませんが、お客様から頼りにしていただけるように、お薬や商品について勉強し続けたいと思っています。」

大谷選手の活躍に
元気と勇気をもらっています！

「最近は、ロサンゼルス・エンゼルスの大谷選手の活躍からパワーをもらっています。努力している人を見るのが大好きなんです！休日はテレビの前で、大谷選手に熱い声援を送っています。がんばれー！」